

## 1. 園の教育目標

## 「かんじる心 ちょうせんする心 げんきいっぱいさゆりっこ」

- (1) 友だちと元気よく遊ぶ子
- (2) 気づき考えて粘り強く行動する子
- (3) まわりのものに自らかかわろうとする子
- (4) きもちよくあいさつ、返事の言える子

## 2. 本年度の重点目標

- (1) 体を動かし、心も体も元気に
- (2) たのしそう、おもしろそう やってみよう
- (3) おはよう、ありがとうで、みんないい気持ち

## 3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・園内研修会の実施をし、職員の資質向上を図っている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育環境整備	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

## 4. 学校関係者評価委員（モニター会）からの評価

- ・自分（保護者）の世代が主体性についてここまで考えてこなかったのが、子ども・保育者・保護者の考えている主体性にずれがあるのではないかと感じる。鼓笛隊は格好いい（保護者）、鼓笛隊の曲は子どもたちの好きな物（子ども・保育者）と一つのことに視点が様々あるととらえ方が違ってくる。当然であるとは思いますが、園の方から保護者の理解を深める取り組みを進めてほしい。
- ・主体性を大事にする保育により保育士の仕事量が増えていないか、心配である。ひとり一人の子どもに寄り添うことを考えるとやはり時間と労力は必要になると思う。先生方には長く勤めてほしいので、時間外勤務にならないようにしてほしい。
- ・特性のある子どもへの対応に感謝している。入園してから医療機関を進められ、療育等を利用することができた。支援会議もその都度開いていただき、安心して園に預けることができた。年少の時、年中になって加配の先生がつけられるかわからないと話された時は不安になったが、親と園が手を取り合って協力できる体制を作っているとありがたい。

## 5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・子ども理解、環境づくりは今後も積極的に取り組んでいきたい。そのための園内の組織の見直し、空き教室の利用等を行っていく。
- ・主体性を大切にする保育から子どもから発信する活動、行事を職員全体で構築していきたい。またそのための研修を継続的にやりたい。
- ・子どもの成長でつながる幼小の接続を幼年教育発表の機会を通して、深めていきたい。